

外国客船受入による商店街の未来を考える会議・講演資料

高知新港へのクルーズ船の寄港と地域活性化

2025年3月6日



本日の構成

1. クルーズ市場の動向

2. 外国クルーズ船乗客の傾向

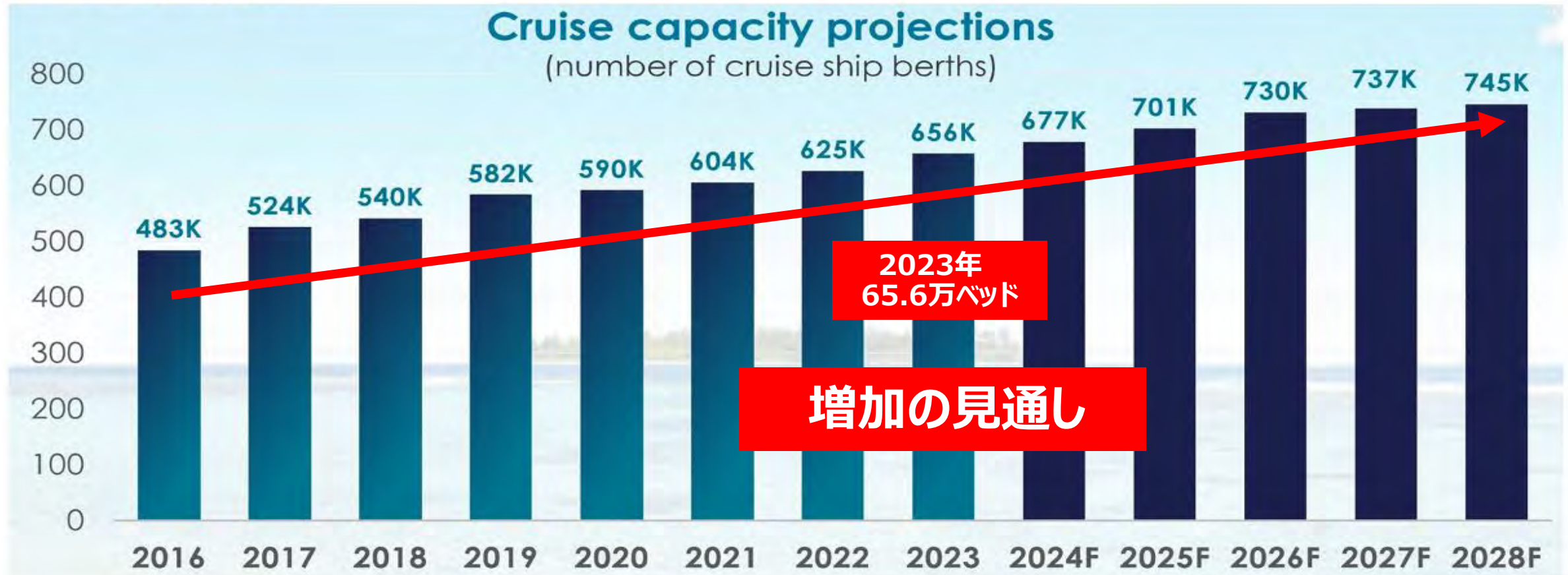
3. 課題と対策

1.クルーズ市場の動向 (1) 世界のクルーズ市場の現状と見通し

①世界のクルーズキャパシティ（ベッド数）

- 世界のクルーズ船の輸送キャパシティ（供給サイド＝ベッド数）は継続して増加。2025年以降も増加する見通し。

クルーズ定員予測



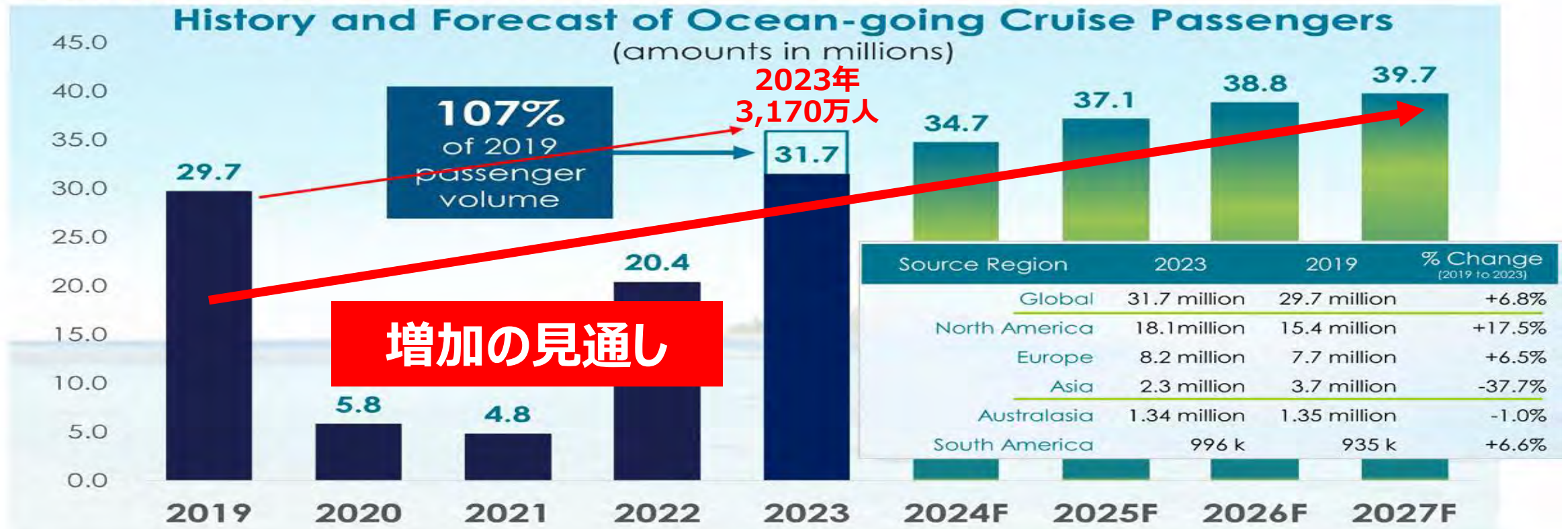
(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年9月11日) "State of the Cruise Industry Report" May 2024, CLIA

1.クルーズ市場の動向 (1) 世界のクルーズ市場の現状と見通し

②世界のクルーズ人口

- 世界のクルーズ人口（需要サイド）は、すでにコロナ前の水準を超過。2023年の世界のクルーズ人口は3,170万人となり、コロナ前の2019年に比べて107%の水準。
- 地域別には、北米が+17.5%と大幅増加に対して、アジアは▲37.7%と回復に遅れ。

世界のクルーズ人口の実績と将来予測



(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年9月11日) "State of the Cruise Industry Report" May 2024, CLIA

1.クルーズ市場の動向 (1) 世界のクルーズ市場の現状と見通し

③クルーズ船の多様化（二極化）

- 総トン数と乗客定員における隻数の分布では、5,000トン未満、乗客定員500名未満の中・小型船が増加傾向。10万トン以上、乗客定員3,000名以上の大型船が増加傾向である。
- 2024年時点の最大は、ロイヤルカリビアンクルーズのアイコン・オブ・ザ・シーズ（総トン数：250,800トン/乗客定員：全室2名利用の場合5,610人、最大7,600人/乗組員数：2,350人）である。

[総トン数 GT]



➤ 最大値の推移

2004年 2014年 2024年
14.9万トン ➡ 22.7万トン ➡ 24.9万トン

[乗客定員]



➤ 乗客定員合計の推移

2004年 2014年 2024年
39.0万人 ➡ 58.3万人 ➡ 85.6万人

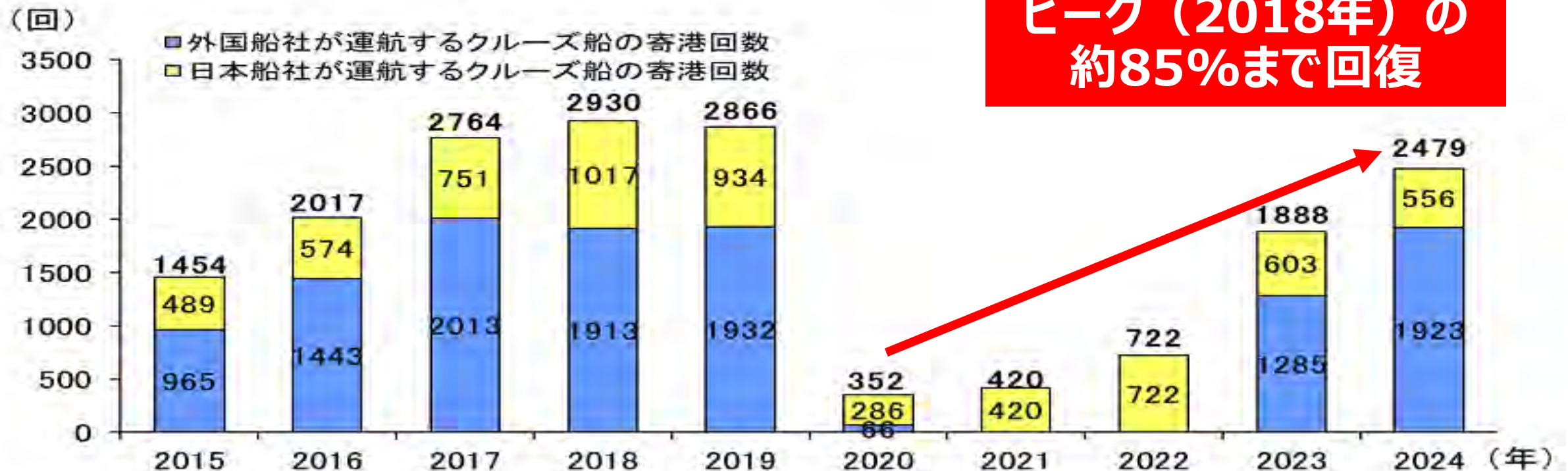
**世界のクルーズ市場は拡大を続け、
今後も拡大する見通し**

1.クルーズ市場の動向 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

① 日本へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）

- 2024年の日本へのクルーズ船寄港回数は、前年比約1.3倍の2,479回となり、コロナ前ピーク水準（2018年）の約85%まで回復。

日本へのクルーズ船の寄港回数

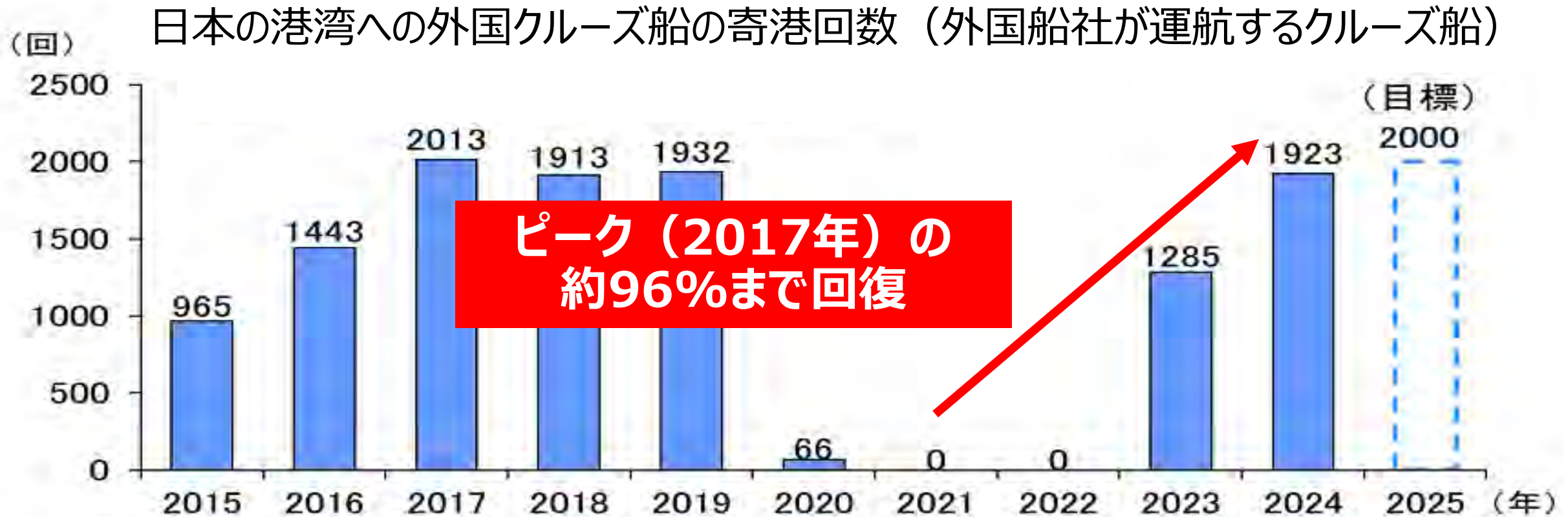


（出典）国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

1.クルーズ市場の動向 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

②日本への外国クルーズ船の寄港回数

- 日本への外国クルーズ船（外国船社が運航するクルーズ船）の寄港回数は、前年比約1.5倍の1,923回となり、コロナ前ピーク水準（2017年）の約96%まで回復。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で2,000回を目標値としている。



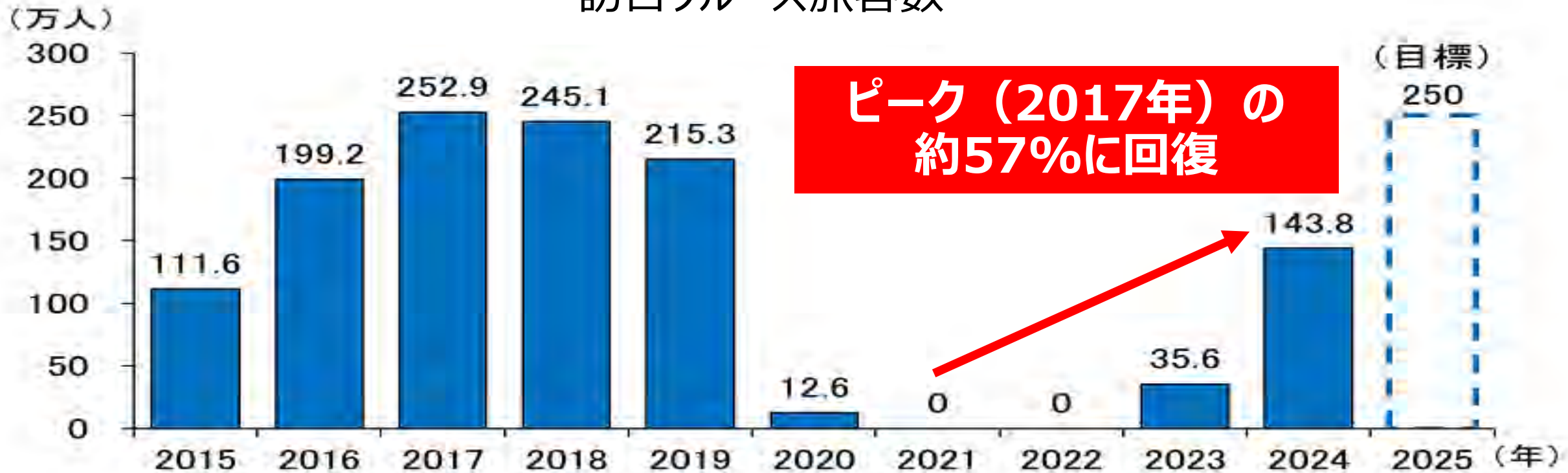
（出典）国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

1.クルーズ市場の動向 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

③訪日クルーズ旅客数

- 2024年に日本へクルーズ船で入国した外国人旅客数（訪日クルーズ旅客数）は、前年比約4.0倍の143.8万人となり、コロナ前ピーク水準（2017年）の約57%に回復。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で250万人を目標値としている。

訪日クルーズ旅客数



（出典）国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

1.クルーズ市場の動向 (2) 日本へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

④各国・地域発の訪日クルーズ旅客数

- コロナ前には訪日クルーズ旅客数全体の8割強を占めていた中国発クルーズは、コロナ前ピーク水準（2017年 217.3万人）の約44%（95.1万人）にとどまり、回復に遅れ。
- 一方、日本発クルーズによる訪日クルーズ旅客数は、過去最高を記録しており、こうしたクルーズ船は、主に日本の港を発着港として全国の港を周遊しているため、経済効果が全国に波及。

各国・地域発の訪日クルーズ旅客数

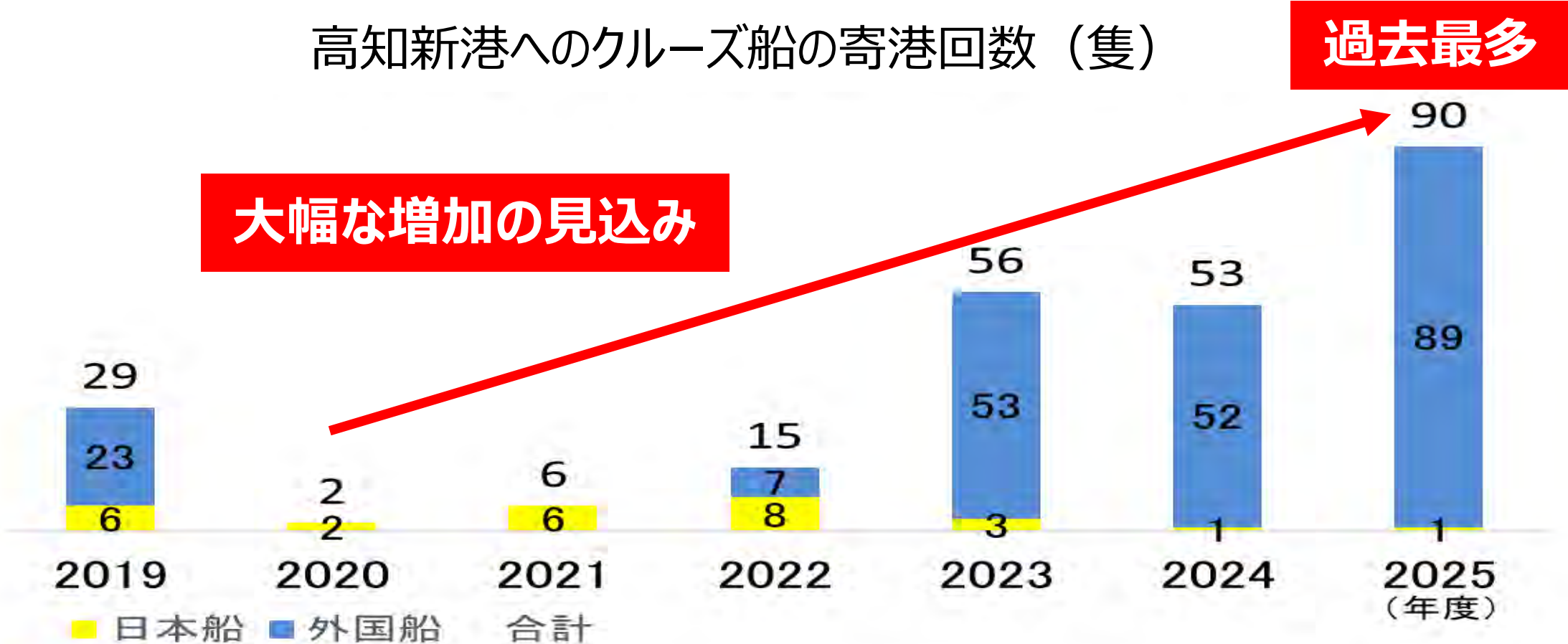


(出典) 国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

**日本へのクルーズ船の寄港回数は
大幅に増加し、今後も増加する見通し**

①高知新港へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）

- 2024年度の高知新港へのクルーズ船の寄港回数（日本船及び外国船）は53回となり、2025年度には90回と大幅な増加の見込み（2024年度及び2025年度は2025年2月21日現在の数値で予約を含む）。



(出典) 高知県港湾振興課

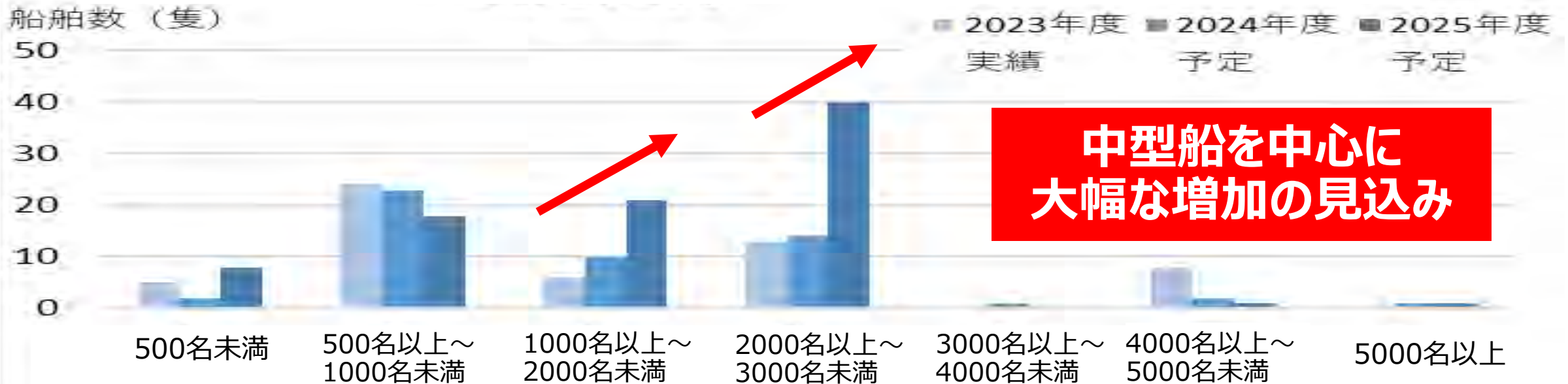
1.クルーズ市場の動向

(3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

②高知新港に寄港するクルーズ船の規模（乗客定員）と寄港回数

- 高知新港に寄港するクルーズ船（日本船及び外国船）の規模（乗客定員）は1,000名～3,000名の中型が多く、2025年度にかけて寄港回数が大幅に増加する見込み（2024年度及び2025年度は2025年2月21日現在の数値で予約を含む）。

高知新港への乗客定員別クルーズ船の寄港回数



高知新港に寄港予定のクルーズ船の乗客定員を合計すると
2024年度8万7,000人⇒2025年度15万5,000人の見込み

1.クルーズ市場の動向 (3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

③外国船社及び日本船社が運航するクルーズ船の日本の港湾への寄港回数

● 寄港地は西日本に集中。2023年には高知新港が初めてランクイン。

順位	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	259	博多	328	博多	326	博多	279	那覇	260	ペラピスタマリーナ	53	ペラピスタマリーナ	82	ペラピスタマリーナ	93	横浜	171	博多	204
2	長崎	131	長崎	197	長崎	267	那覇	243	博多	229	横浜	47	横浜	72	横浜	82	長崎	86	那覇	175
3	横浜	125	那覇	193	那覇	224	長崎	220	横浜	188	神戸	29	神戸	24	神戸	57	ペラピスタマリーナ 神戸	81	長崎	160
4	那覇	115	横浜	127	横浜	178	横浜	168	長崎	183	宮島 那覇	19	宮島	18	小豆島	33	—	—	横浜	147
5	神戸	97	神戸	104	石垣	132	平良	143	石垣	148	—	—	笠島漁港	15	宮島	32	鹿児島	82	石垣	120
6	石垣	84	石垣	95	平良	130	神戸	136	平良	147	笠島漁港	16	名古屋	14	名古屋	22	那覇	79	鹿児島	105
7	鹿児島	53	平良	86	神戸	116	ペラピスタマリーナ	122	神戸	131	博多	14	大三島(愛媛県)	13	宮之浦	18	博多	75	神戸	95
8	佐世保	36	鹿児島	83	鹿児島	108	佐世保	108	鹿児島	106	大三島(愛媛県)	13	仁尾	12	大阪 竹原	14	広島	59	ペラピスタマリーナ	81
9	名古屋	34	佐世保	64	佐世保	84	石垣	107	ペラピスタマリーナ	100	犬島	12	犬島	11	—	—	清水	58	清水	87
10	広島	32	広島	47	八代	66	鹿児島	100	佐世保	79	石垣 長崎	10	小大下島	10	清水	13	高知	53	大阪 佐世保	72
	その他	488	その他	693	その他	1,133	その他	1,304	その他	1,295	その他	110	その他	149	その他	344	その他	1,033	その他	1,151
	合計	1,454	合計	2,017	合計	2,764	合計	2,930	合計	2,866	合計	352	合計	420	合計	722	合計	1,888	合計	2,479

(出典) 国土交通省「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2024年速報値）」

1.クルーズ市場の動向

(3) 高知へのクルーズ船の寄港等の現状と見通し

④クルーズ船の船型（高知新港に接岸できる船型等）

- 高知新港は22万トンまでの客船の接岸が可能。国内発着クルーズ船では最大規模のMSCベリッシマも寄港済み。

船名	船型、同縮尺イメージ			船幅	乗客定員
ル・ソレアル (Le Soleal) ('13年より日本に寄港) 初就航:2013年	総トン数 10,992トン	必要岸壁水深 5.3m程度	満載喫水 4.74m	 全長142.10m	18.0m 264人 (264)
飛鳥 II (邦船最大のクルーズ船) 初就航:1990年	総トン数 50,444トン	必要岸壁水深 8.8m程度	満載喫水 8.0m	 全長240.96m	29.6m 872人 (872)
ダイヤモンド・プリンセス (Diamond Princess) ('14年より日本発着クルーズに配船) 初就航:2004年	総トン数 115,906トン	必要岸壁水深 9.5m程度	満載喫水 8.55m	 全長290m	37.5m 2,706人 (3,247)
スペクトラム・オブ・ザ・シーズ (Spectrum of the Seas) ('19年より日本に寄港) 初就航:2019年	総トン数 169,379トン	必要岸壁水深 9.8m程度	満載喫水 8.82m	 全長347.11m	41.39m 4,246人 (5,622)
MSCベリッシマ (MSC Bellissima) (日本に寄港実績のある最大級のクルーズ船) 初就航:2019年	総トン数 171,598トン	必要岸壁水深 9.7m程度	満載喫水 8.75m	 全長315.83m	43.0m 4,418人 (5,686)
オアシス・オブ・ザ・シーズ (Oasis of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2009年	総トン数 226,838トン	必要岸壁水深 10.3m程度	満載喫水 9.3m	 全長380m	47.0m 5,602人 (6,771)
アイコン・オブ・ザ・シーズ (Icon of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2024年	総トン数 250,800トン	必要岸壁水深 未発表	満載喫水 未発表	 全長385m	64.9m 5,610人 (7,600)

(出典) 国土交通省「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(令和6年5月20日)

「クルーズ客船データブック2022・2023(海事プレス社)」、船社代理店への聞き取り調査等を基に国土交通省港湾局作成

**高知新港へのクルーズ船の寄港回数は増加し、
今後も中型船を中心に大幅に増加する見通し
乗客定員でみれば15万人以上が来高見込み
(2025年度)**

本日の構成

1. クルーズ市場の動向

2. 外国クルーズ船乗客の傾向

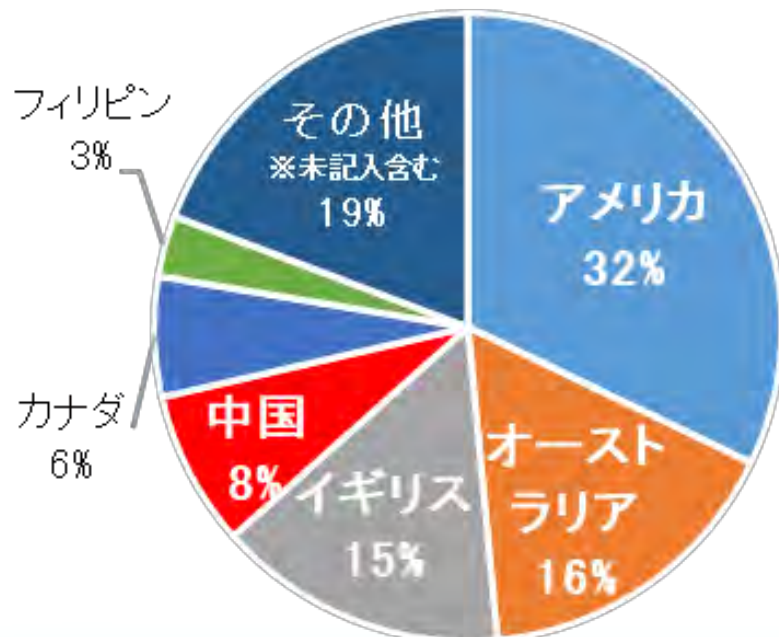
3. 課題と対策

2.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

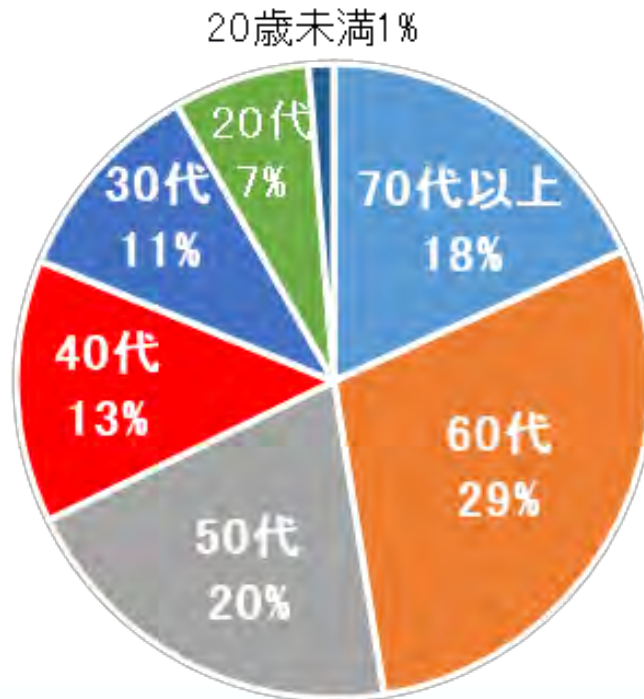
①2024年度 アンケート回答者の属性

- 場 所 : はりまや橋バスターミナル (以下、HBT)
- 対 象 : HBTからシャトルバスで新港に戻る外国クルーズ船乗客 (一部乗員含む)
- 回答数 : 有効回答数2,037(乗員128を含む)、消費額は回答数1,918 (18回アンケート実施)
※有効回答数を母数とし、小数点1位を四捨五入。 2024年11月30日時点

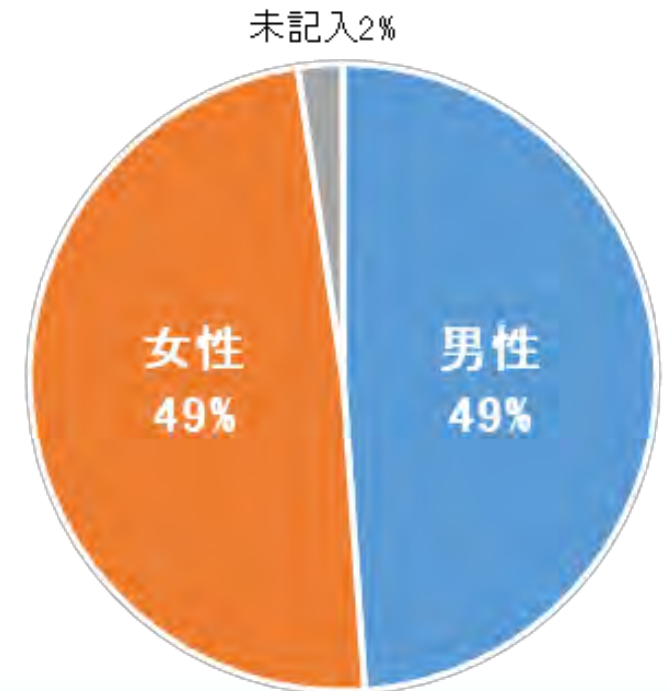
【国籍別】



【年代別】



【性別】



(出典) 高知県国際観光課

2.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

②シャトルバス乗客の行き先

【主な行き先】

1.高知城、2.ひろめ市場、3.高知城歴史博物館

【その他行き先】

牧野植物園、よさこい情報交流館、竹林寺、桂浜、商店街（アーケード、大丸等）
はりまや橋、街路市（日曜市、木曜市）、よさこい祭り 等



③満足度

主な行き先の順位は前年調査と同じ

全体的に高いが、決済手段やWi-Fi環境に関しては、やや満足度が低い傾向がみられる。

	全体	買い物	食べ物	多言語表示	決済手段	Wi-Fi環境	また高知に 来たいか
大変満足・満足	98%	93%	95%	90%	88%	78%	96%
普通	1%	7%	5%	9%	11%	19%	3%
不満・大変不満	1%	0%	0%	1%	1%	3%	1%

※「また高知に来たいか」の回答は、「ぜひ来たい・来たい」= 大変満足・満足、「どちらでもない」= 普通、
「来たいと思わない・全く来たいと思わない」= 不満・大変不満に分類

満足度の傾向は前年調査と同じ

2.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

④市街地での消費額等

平均消費額

【全体（回答数1,918（18回アンケート実施））】

買い物：6,177円、飲食費：2,716円、その他：604円、合計消費額：9,497円

【中国人メインの客船（R6年中にアンケート実施）】

買い物：22,226円、飲食費：11,390円、その他：2,192円、合計消費額：35,808円

**中国人の消費額は
外国人平均の3倍以上**

⑤高知についての感想（自由回答）

【高知県についての感想】

1.市民がとてもフレンドリーだった、2.食事がおいしかった、
3.街が清潔感がありキレイ、4.ショッピングがよかった、5.観光施設がよかった

【人気の食べ物】

1.カツオ・カツオのたたき、2.餃子、3.ビール・酒、4.ソフトドリンク、5.寿司

【人気のお土産】

1.洋服、着物等、2.靴、バック等、3.装飾品、4.雑貨、5.化粧品



**感想、食べ物、土産の
1位は前年調査と同じ**

2.外国クルーズ船乗客の傾向 高知新港に寄港する外国クルーズ船乗客へのアンケート調査

⑥よかったところ・要望等

【よかったところ】

アーケード内のイベントや体験企画がよかった

【要望】

- クレジットカードを使える店舗
- 外国語での対応
- 多言語案内表示
- 目的のお店が見つけない
- 目的のお店の情報がWEB上にない

商店街アーケード内の
イベントが好評

要望は前年調査と
ほとんど変わらない

⑦高知新港へ寄港するクルーズ船乗客の傾向（まとめ）

- 出身国
 - ・アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダを中心とした英語圏が半数以上
 - ・消費額の多い中国も一定数あり、2024年のクルーズ再開により今後増加の可能性
- 年齢：60歳代以上が50%弱、40歳代以上が80%（アンケート回答者数で見た場合）
- 性別：男性と女性がほぼ半々
- 行き先：商店街を巡って高知城、ひろめ市場、高知城歴史博物館等へ（徒歩の場合）
- 満足度：総じて高いが、DX・デジタル系（決済手段やWi-Fi等）はやや低い
- 評価：商店街アーケード内のイベントや体験企画が好評
- 要望：決済手段の拡充、多言語対応化、情報への容易なアクセス（わかりやすい情報発信）

本日の構成

1. クルーズ市場の動向
2. 外国クルーズ船乗客の傾向
3. 課題と対策

3.課題と対策 インバウンド消費による地域活性化のために

**よかったところ（アーケード内のイベントや
体験企画）は継続し磨き上げる**

**満足度の低い項目及び要望＝課題であり、
要望等は前年調査とほとんど変わっていない**

3.課題と対策 インバウンド消費による地域活性化のために

①外国人観光客が求める環境整備と情報発信の必要性

【課題】

【満足度の低い項目】

決済手段及びWi-Fi環境

【要望】

- クレジットカードを使える店舗
- 外国語での対応
- 多言語案内表示
- 目的のお店が見つけない
- 目的のお店の情報がWEB上にない

【対策】

- DX・デジタル化の推進
クレジットカード及びキャッシュレス機器の設置等
- 外国語での対応
ポケット多言語翻訳機などの導入、
ポップの作成。特に英語及び中国語
- 多言語情報発信の強化
HP、SNSの情報拡充やポップの作成
特に英語及び中国語

3.課題と対策 インバウンド消費による地域活性化のために

②環境整備と情報発信のために銀行ができること・その1 令和6年度商店街デジタル化支援事業などの伴走支援を実施

事業共同体（JV） 各社の強みを活かしたデジタル化支援を実施中（実施期間：2024年6月～2025年3月）



リテラシー研修

- 県庁との窓口、各ステークホルダーとの調整
- デジタルリテラシー教育（6回）の実施
- 事例集の作成



モデル店舗への支援

- モデル店舗（15店舗）のデジタル化計画の策定・実行支援



商店街、人流データ分析

- 商店街に設置されたAIカメラの情報に基づいた人流データの分析
- 商店街に対する業務の提案

2024年6月よりモデル店舗各社（15社）のデジタル化計画の作成、デジタル化に向け伴走支援を実施。下記のようなニーズに対応中。

- 店舗前をどのような人（性別、年代など）を通行しているかを把握し、店舗前でサインージ等で集客したい（飲食店）
- デジタル化が全く手つかずで紙が中心、この機会にデジタル化したい。会計システムや給与システムなどからデジタル化を行うことに併せ、来店客の情報も収集していきたい（小売業）
- これまでポイントカードやダイレクトメールを活用していたが、LINEなどを活用して会員登録、ポイント、新商品案内などの実施していきたい（飲食店）
- 店舗販売とEC販売の商品在庫の突合に時間を要してる、この機会に効率化を図りたい（小売業）

3.課題と対策 インバウンド消費による地域活性化のために

②環境整備と情報発信のために銀行ができること・その2 DX・デジタル化等に活用できる補助金のご紹介

商店街等の方々が補助金を活用できるように支援中。ご相談は地域イノベーション部または帯屋町支店へ

業名	制度概要	補助額	補助率	公募期間	補助対象経費
I T 導入補助金	業務の効率化やD Xの推進、セキュリティ対策に向けたITツール等の導入費用を支援	最大450万円	1/2～4/5	3/31～ 5/12	ソフトウェア、クラウド利用料、ハードウェア（PC・タブレット・レジ・券売機等）等
小規模事業者 持続化補助金	小規模事業者等が経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援	最大250万円	2/3～3/4	5/1～ 6/13	機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会 出展費 等
中小企業 省力化投資補助金	人手不足解消に効果のあるロボットやIoTなどの製品や設備・システムを導入するための経費を補助	最大1億円	1/2～2/3	随時 (一般型 は1/30～ 3/31)	省力化製品（清掃ロボット、券売機、スチームコンベクションオープン、配膳ロボット等）

※上記は国の補助金の一例。この他、県や市町村の補助金制度もある。

ご清聴ありがとうございました。

**経済・金融等に関する
講演等の依頼がございましたら、
次ページの連絡先にご連絡ください。**



地域と共に未来を創造する

(株) 四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-21

Tel : 088-883-1152(代表)

Mail : shiginer@crux.ocn.ne.jp